

氏名	坂 根 正 純
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 931 号
学位授与の日付	昭和53年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	ガングリオン内容物中の蛋白成分に関する生化学的研究
論文審査委員	教授 水原舜爾 教授 寺本 滋 教授 田中早苗

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ガングリオンの本態を追究するため、その内容物中の蛋白について蛋白電気泳動法、免疫電気泳動法、平板内単純拡散法を行った。さらに変形性膝関節症の関節液、および血清についても同様の検索を行った。

蛋白電気泳動では、含有蛋白量が少いため染色は非常に淡かった。免疫電気泳動像は特異的であり、Albumin, Transferrin, IgG と同定される3本の沈降線と、ときに1～3本の別の淡い沈降線を認めたのみであった。8種類の成分につき平板内単純拡散法を行い、Albumin が約70%と主成分をなし、Globulin の大部分は IgG であることを知った。他の成分も微量ながら測定しえたが、巨大蛋白である β -lipoproteinのみは検出されなかった。総蛋白量は平均 $837.4 \pm 35.8 \text{ mg/dl}$ であった。

このガングリオン内容物中の構成蛋白の特異性について、同様に高い粘稠度を有する関節液と比較して考察を試みた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はガングリオン内容物中の蛋白質の種類と量を電気泳動、免疫電気泳動及び平板内単純拡散法で測定し、関節液、血清と比較したもので、その結果ガングリオン内の蛋白は血清とは勿論、関節液よりも更に低濃度であること、主成分はアルブミンで70%を占め、次いで免疫グロブリン G (IgG) が約20%、トランスフェリンが約3%であること等を明らかにしている。学位論文として有意義と認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。